

評価結果

日付	平成31年 3 月18日	評価対象者	栗林 澄夫
評価	適		
評価内容	<p>●所信表明等で示された内容の達成状況に基づく業績評価</p> <ul style="list-style-type: none">・ 4年の任期の最終年を終え、昨年度の段階で所信表明等で示された23項目すべてに着手し、達成されている。本年度は、学部改組後の新入生を迎え、更に平成27年度に設置した教職大学院の改組を計画するなど、各項目においてより効果が高められるような取り組みが行われた。・ 特に大学間連携にとどまらず、地域・教育委員会との連携強化が図られたことは、とりわけ評価できる。 <p>●国立大学法人評価委員会の評価に基づく業績評価</p> <p>①「業務運営の改善及び効率化に関する目標」、②「財務内容の改善に関する目標」、③「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標」、④「その他業務運営に関する重要目標」において、それぞれの目標における年度計画の記載事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められており、評定では上記4つの項目別評価において「中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と位置付けられている。</p> <p>●総評</p> <p>上記状況を踏まえると、学長の大学運営は順調に進んでいると考えられるので評価を「適」とする。</p> <p>なお、近年大阪教育大学を取り巻く状況は刻々と変化し、ますます困難な状況に直面してきている。このような状況に全学的に一丸となって対応するためにも、学内での更なる情報共有を推進していただきたい。</p>		